

まちの資源醸成委員会 事業計画

委員長 神田 哲志

このまちは日本百名山にも数えられる関東の名峰筑波山を有し、自然豊かな郷土と研究学園都市とを兼ね備え、美しい街並みを形成しています。TXの開通によりますます発展した中心部では現在も進化を遂げている最中です。しかし、その都市部とは違い北部地域は地域活力が低迷しているのが現状です。この問題に私達も向き合い、豊かな資源の魅力を発信しながら、地域住民とともに地域活性化やブランド力の向上を行う必要があります。

まずは、今年で7回目となります「ツール・ド・つくば2015」をさらに全国でも名の知れた大会へ飛躍させるために、これまで積み上げられた運営の経験と手法を用いるとともに進化させ、例年以上に参加希望者を増やし、筑波山の魅力を皆様に伝えていきます。2019年には「第74回国民体育大会」のロードレースがこの地にて開催することが決定しました。自転車競技を始めた先駆けとして、これまでの実績を踏まえ、周辺住民並びに関係諸団体と協力しながら大会に取り組みます。さらに、開催地周辺地域の更なる発展に寄与するため、事業開催後はしっかりと検証を行うとともに、積み上げられてきた手法や仕組みを進化させ、後世へと引き継いでまいります。また、サイクルスポーツを通じて市民の健康増進、環境保全を啓発し「自転車のまちつくば」「環境モデル都市つくば」を広めます。そして、私達の喫緊の課題である会員拡大にも積極的に取り組みます。また、JCI ASPAC誘致を決議しているLOMとして、まちのプライド推進委員会とともに第70回JCI世界会議 金沢大会にてブース出展し、つくばの魅力を発信していきます。

地の利を有効的に活用した対外事業を継続的に行うことで、このまちの大切な資源を全国各地に幅広く発信できます。それは、この地に暮らす人々に多大なる活力と勇気をもたらし、今後のつくばのブランド力向上や地域活性にもつながり美しいつくばを創造します。

〔事業計画〕

1. ツール・ド・つくば2015の開催
2. 開催後の検証、事業マニュアルの更新及び引継ぎ
3. 事業を飛躍させる為の人財育成への取り組み
4. 第70回JCI世界会議 金沢大会ジャパンナイトでのブース出展
5. 会員拡大